

統合検証（まとめ）

項目	内容
通学	<ul style="list-style-type: none"> ●統合する場合、通学路・スクールバスの設定が最も保護者にとって、課題となる。徒歩通学路の変更については、安全な登校・下校が果たされるよう、十分検討する必要がある。 また、出発時間の変更に伴い、出欠連絡と給食の有無が連動できるよう配慮する必要がある。 スクールバスについては、集合場所の待機スペースについて、児童生徒数を考慮して検討する必要がある。
制服	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい制服への移行に十分な猶予期間（3年）を設けることで保護者の負担を軽減することは有効である。
児童クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ●新校となる場合、既存の児童クラブで対応できるか、関係部署との調整が必要であるため、早めに統合内容を周知する必要がある。
学習	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校においては、統合によって2クラス確保できることで、競争心も芽生え学習面での良い影響がある。 ●中学校においては、統合による学習面での影響は少ない。
部活動 (中学校)	<ul style="list-style-type: none"> ●通学バスがある場合、部活動の時間への影響があることを考慮する必要がある。 ●統合前から交流を図ることで、スムーズな移行が出来る。 ●人数が増えることで、実施可能な競技が増えたり、競争が生まれることで良い影響が認められる。
クラブ活動 (小学校)	<ul style="list-style-type: none"> ●人数が増えることで、競争心が芽生え、切磋琢磨することができる、良い影響が認められる。
学校行事	<ul style="list-style-type: none"> ●人数が増えることで、行事の活力が増す。
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ●統合前から交流することが、統合による人間関係上のストレスを軽減する。急な統合にならないよう、事前の交流が重要である。 ●交友関係の広がりや、子どもの視野が広がる効果はある。 しかし、環境変化によるストレスが認められるので、子どもたちの精神的なケアが出来るよう、配慮する必要がある。
PTA活動	<ul style="list-style-type: none"> ●統合により、生活上の交流がない親同士がPTA活動に参加するので、交流する時間の確保が必要と思われる。もしくは、連絡体制の構築には、学校側の調整が必要となるため、
総括	<ul style="list-style-type: none"> ●小さな学校の存在が、ネガティブなことや消極的なこととして捉えるのではなく、あるべき姿、ポジティブなものとして捉えて欲しい。地域独自の魅力を活かし、地域ならではの野外活動の充実等を図るべき。 ●今後もし統合があるなら、地域の活性化につながる統合をしてほしい。子どもたちが行きたい学校となってほしいので、学校ならではの特色をつけてほしい。 ●統合する場合には、統合するなら出来るだけ早く決断して、準備をしっかりと進めるべき。規模の大きさが異なる学校が統合する場合、小さいところの気持ちを汲んで取り組んでほしい。学校が地域からなくなること、地域住民の不満や寂しさに配慮してほしい。